

成城教育

第200号

2023年9月30日

200号記念特集

成城学園の「これまでのこと」「これからのこと」

付録 『成城教育』151号～200号 総目次・執筆者索引



成城学園教育研究所

「表紙」のことば

幼稚園 大概 結

今回の表紙の作品は、幼稚園年長組による、折り紙で製作した七夕飾りです。

七夕の季節になると各学年いくつかの笹飾りを製作します。この飾りは「鍵」と呼ばれ、幼稚園の伝統として年長児が製作しています。「鍵」の製作は工程が多く、それぞれの説明を良く聞いて理解し、活動に取り組むと言う難易度の高いものです。まず、七色の半分に切った折り紙から一色だけ一枚、残りの六色は二枚ずつ取り、その折り紙を十三枚、全て四分の一に折ります。折ったら「鍵」の様な形の型紙で型を取ります。ここまでに折り方を間違えてしまったり、型を取る方向を間違えてしまったり：何度もやり直している子ども達も。十三枚の型が取れたらハサミで切り抜きます。この工程は、あちこちで歓声や悲鳴が：！全ての型を切り終えたら、その作品を丁寧にひとつひとつ繋げて完成です。十三枚の鍵が全て繋がった時の子ども達の嬉しそうで誇らしげな笑顔と言ったら！ここまでの過程を一緒に乗り越えた友達と教師と喜びを分かち合う瞬間です。

作者にインタビュースると「鍵と鍵をくつつけるのが難しかった。意外と簡単（！）だった。水色が綺麗だから最初の色にした。」「鍵を通すときに半分に折るのが難しかった。色が隣と違う色になる様にした。水色が好きで最初にした。」「最初はうまく出来なかったけど、でも上手に出来た。オレンジがお日様みたいだから一番上にした。ピンクが入っていると気が入っているの！」「三人とも、製作中の事を振り返りながら話をしてくれました。

子ども達の願いが叶います様に：星に願いを込めて☆

成城教育

第200号

©成城学園教育研究所

◆表紙：幼稚園年長 ちゅうりっぷ組 合作

「表紙」のことは 大槻 結

口絵：グラフィア 『成城教育』 歴代の表紙より

カット 手嶋直輔

■特集 成城学園の「これまでのこと」「これからのこと」

二〇〇号の特集によせて 川住あゆみ 5

学園の教育に関する理念、使命、展望を省察するフォーラム 岩田一正 9
言い残したこと 宮崎修多 14

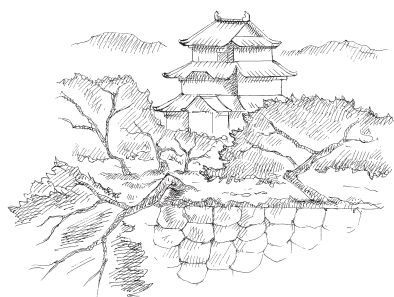
教育研究所での学び 臼井英之 20

「散歩の時間」のある教育 浅井良夫 26

雑誌『成城教育』の歩みを振り返る 岩見寿子 31

成城「愛」のバトンを 鈴木秀典 37

遊びはつづくよ、どこまでも 今井英雄 40



自分の声で歌う (Pay it forward)	三瀬 悠	43
Fusion	山本里紗	46
成城大学での会計学の経験	上田晋一	47
ヨニイチのこと	及川祥平	54
嗚呼! 大学院生	外池 昇	57
「柳祭」のこれからのこと	小林真由美	59
二つの拍子	赤塚健太郎	61
フェスティナ・レンテ	井上 徹	63
成城の教育をふりかえって——一九五〇年代のある園児・児童・保護者の事例から——	田嶋 信雄	67
明日を生きる力	平井正子	73
私の成城ライフ (人生の半分以上を過ごしている場所)	肥田奈緒子	77
「答えは自分が持っている」という気づき	高島みなみ	79
民俗学の視点	林 洋平	81
挑戦のその先	武藤十夢	82
「みんなちがって、みんないい。」	富永龍介	85
五感で感じる成城っ子へ	藤田久美子	87
自由であること	鈴木淳司	91

へき地学校における少人数学級への注目……………岩田一正 95

まちと学校の話
歴史記念館の展示拡充
.....
99

教育研究所への階段
175
.....
森 周子
100

編集後記
.....
102

付録『成城教育』一五二号～二〇〇号 総目次・執筆者索引……………103